

# おすすめ本

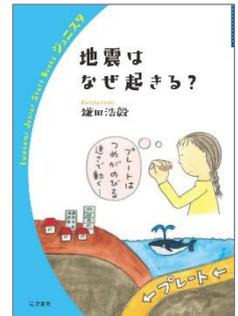
## をご紹介します

生きることは、つらいことと思っている？そんな中学生に向けて哲学者である著者がエッセイ風にした哲学の入門書。「人生」「戦争」「自然」「お金」など、いま考えておきたい16のテーマについて考えてみよう。

14  
歳  
の  
君  
へ  
どう考え  
どう生きるか  
池田 晶子

『14歳の君へ』  
池田 晶子／著 毎日新聞社

いつ起きてもおかしくない地震。これから起きると予想される大地震から、自分や大切な人の命を守るための必要な備えをわかりやすく解説。地震が起きる科学的なしくみを理解し、事前に準備をきちんとしておけば、被害は必ず減らせます！



『地震はなぜ起きる?』  
鎌田 浩毅／著 岩波書店

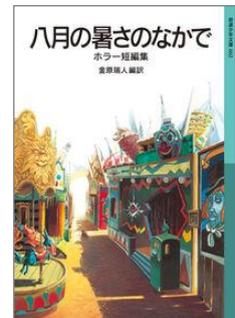
フルーツと出会って5年。天性の才能を認められたユージは、難関の国立音楽院に入学したが、クラシック音楽界の厳しさを目の当たりにする。音楽を続けるか、あきらめるか悩んだユージは…。イタリア、トスカーナの小さな町に暮らす少年の青春音楽小説。



『アドリブ』  
佐藤 まどか／著 あすなる書房

なぜ暑くなると怖い話が読みたくなるのか？ゾクッとする涼しさを感じたいから？

この本には訳者自らが選んだ、怖くてクールな英米ホラーの短編が13話載っています。涼しくなりたい人必読！



『八月の暑さのなかで』  
金原 瑞人／編訳 岩波書店